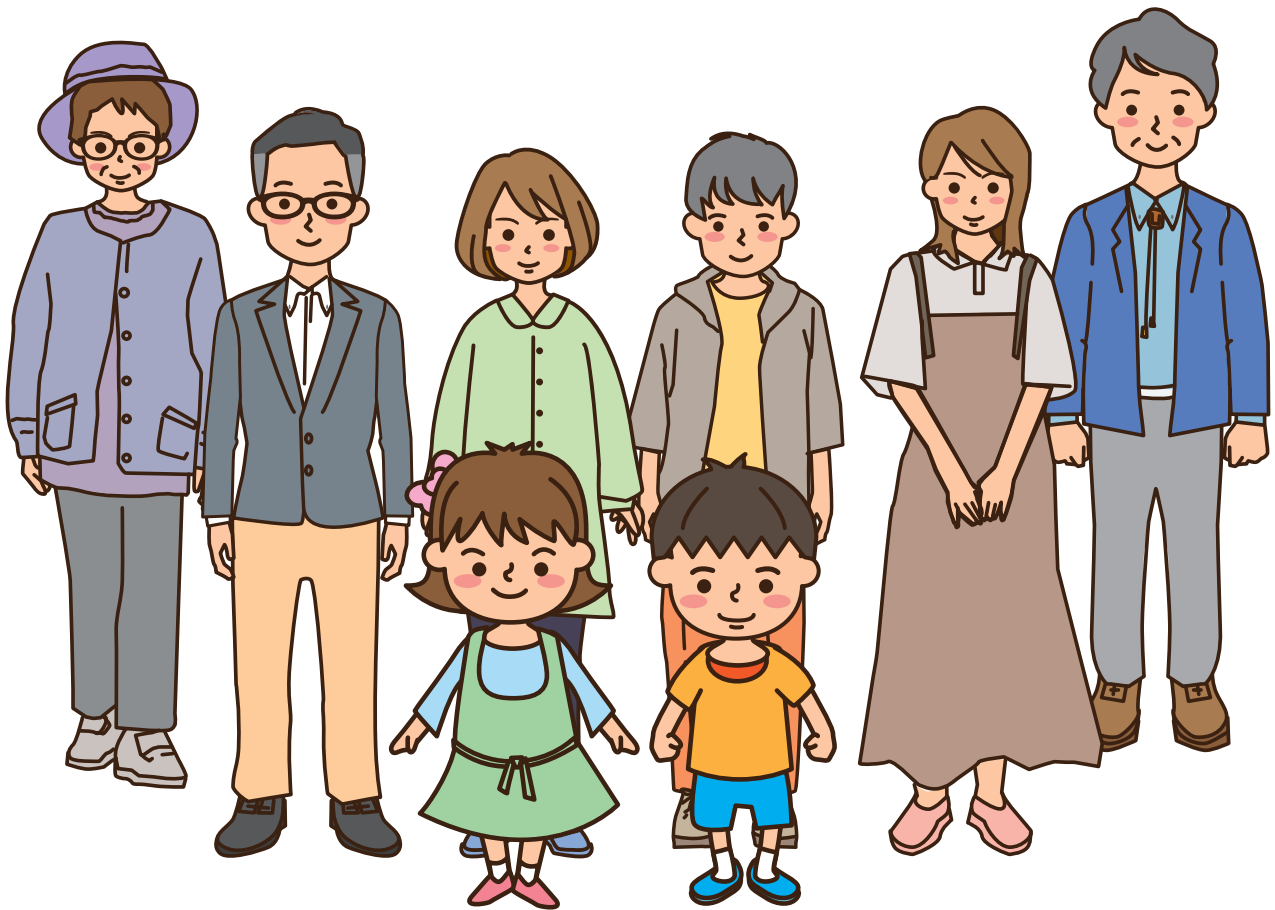


# こども大綱が できました!

こどもまんなか社会を目指して



こどもまんなか  
こども家庭庁

## こども大綱には何が書いてあるの？



僕はウサノビ。こどもがのびのびと  
幸せに成長できることを願って生まれたんだ。  
この冊子では、同じくこどもの幸せな  
未来のために作られた  
「こども大綱」の説明をするよ！

4つの内容が書かれているよ！

- ① こども大綱ができた背景
- ② こども施策に関する基本的な方針
- ③ こども施策に関する重要事項
- ④ こども施策を推進するために必要な事項

## こども大綱が作られた背景



### こどもや若者、子育ての当事者が 幸せに生きられる社会の実現

令和5年4月に、「こども基本法」が施行されたよ。  
この法律は、全てのこどもが、心身の状況や置かれている環境に関係なく、健やかに成長し、将来にわたって幸せに生きていける社会を実現していくために作られたんだ。

そして、そんな社会を実現していくための取組「こども施策」の基本理念（すべてのこどもが尊重され、差別を受けないようにすること、生活が保証され、教育を受ける機会があることなど）に則って、施策を進めていく上で必要なことを「こども大綱」に定めたよ。

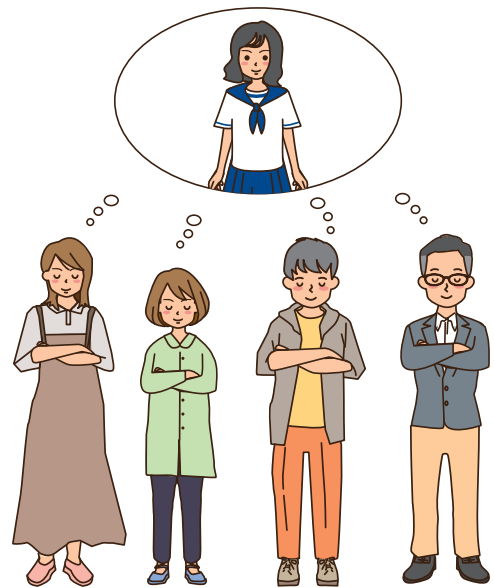


# こども大綱が作られた背景



## こどもに関する、 これまでの課題

こどもの自殺、児童虐待、  
ひきこもりなど、こども大綱が  
作られる前から、この社会には  
こどもに関わる様々な課題が  
あったんだ。



## こども大綱が目指す 「こどもまんなか社会」

全てのこどもが健やかに成長し、  
幸せに生き続けられる社会のこと。  
その実現のため、こどもにとって  
一番の利益を重視して  
施策を進めるよ。







## こども大綱の前提となる方針

6つの方針があるよ

- ① **こどもの権利**を守り、こどもの**最善の利益**を優先
- ② **こどもや子育て当事者と話し合い**ながら進めるよ
- ③ **こどもの年齢などに合わせて切れ目なく支援**するよ
- ④ **全てのこどもが健やかに成長**できるようにするよ
- ⑤ **若い人たちが子育てに希望**を持てるようにするよ
- ⑥ **視野を広く持ち、色々な団体と協力**して取り組むよ

## こども大綱の前提となる方針



### こども・若者を権利の主体として、 権利を守っていくよ

こども・若者の将来の可能性を  
広げていくために、必要な知識や  
情報が届くようサポートし、  
虐待やいじめなどから  
社会全体で守っていくよ。



### こども・若者の意見を 聴くための工夫をしていくよ

貧困・虐待・いじめなどで  
声を出しにくい人たちの意見も  
しっかり社会に届くよう、安心して、  
安全に意見を伝えられる  
場を作っていくよ。

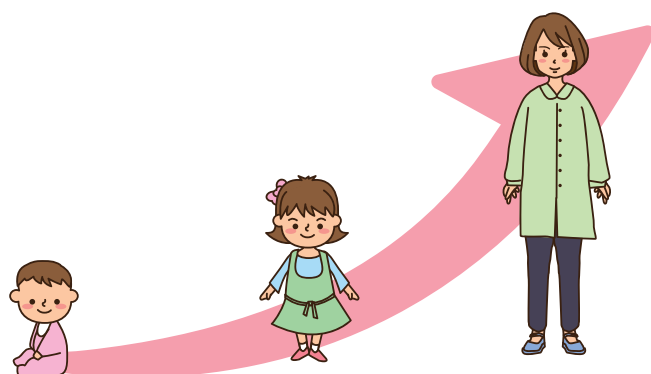


## こども大綱の前提となる方針



### 年齢で区切らずに、 必要な支援を

18歳や20歳という年齢で区切らずに、こどもがおとなになり、自分らしい社会生活を送れるようになるまで支援し続けるよ。安心して頼ってね。



### 貧富の差を解消して、 成長する環境を整備

経済的な格差をなくすことで安心して成長できる安全な環境を整えるよ。そうすることで、自分らしい社会生活を送れるようになるんだ。



# こどもや若者には なにが大事？



重要事項を、  
3つに分けて見ていこう

「こどもまんなか社会」実現のため、

「**全てのライフステージ**」

「**各ライフステージ**」

「**子育て支援**」

の3つに分けて重要なことをよく考え、取組を進めるよ！  
まずは全てのライフステージで重要なことから見ていこう！



# 子どもや若者にはなにが大事？



子ども・若者が権利の主体であることを  
社会全体で共有しよう

子ども・若者が困ったときに助けを求められるようにするよ。

そのために、民間の団体と協力して子どもの権利について

周知する活動や情報の提供をする。

そうすることで、全ての子ども・若者に、

自分が権利の主体だと知ってもらえるようにするからね。

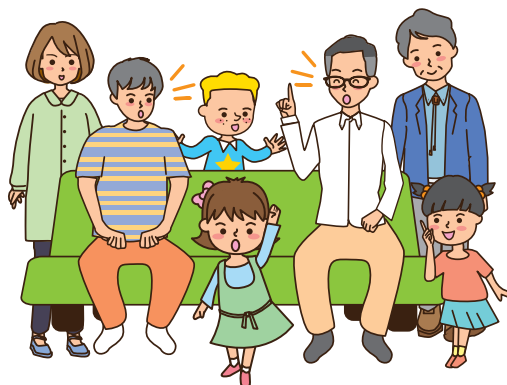
また、いじめや体罰、虐待は許されないことを、

おとなに広めていくよ。

子どもの権利が守られなかったときのために、

頼れる相談先も確保するから、

困ったことがあったら安心してすぐに頼ってね！



# こどもや若者にはなにが大事？



## 多様な遊びや体験活動ができる場づくり

こども・若者の健やかな成長には、遊びや体験が不可欠なんだ。  
なぜなら、遊びや体験活動を通じて健康な体を作り、知的好奇心や  
アイデア力などを育み、達成感や自信をつけられるから。  
みんながいろいろな遊びや体験をできるような機会を作っていくよ。

また、人生をより深く幸せに生きていくには、読書も大切。  
だから、魅力的な本がこどもの目にとまるようにしていくからね。

こうした取組は、家庭・学校・園・  
地域・企業・民間団体などと協力して進めていくよ。



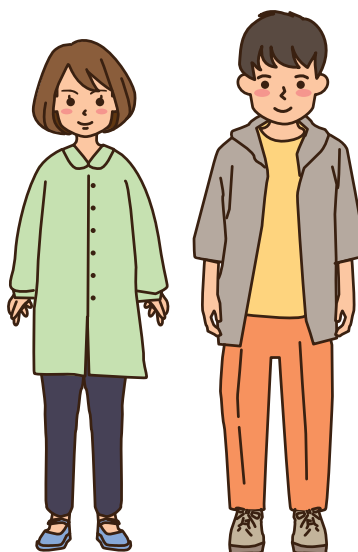
# 子どもや若者にはなにが大事？



## 途切れることのない保健・医療の提供

子どもの成長や発達について、両親や保護者の人が正しい知識を持てるように、情報を伝えていくよ。また、家庭だけではなく、学校や企業なども含めた社会全体で親や子どもの個性・多様性を尊重し、見守り、子どもの健やかな成長を支援していけるように、国民のみんなに理解を深めてもらうよ。

長い期間にわたって続く病気や重たい病気を抱える子どもには、医療費の援助を受けられるように、体制を整えていくよ。病気があっても自立をしていくための支援も充実させていくね！





# こどもや若者にはなにが大事？



## こどもの貧困対策

誰一人として日々の食事に困ったり、勉強や部活動、進学などを諦めることを強いられたりすることのない社会を作っていくよ。

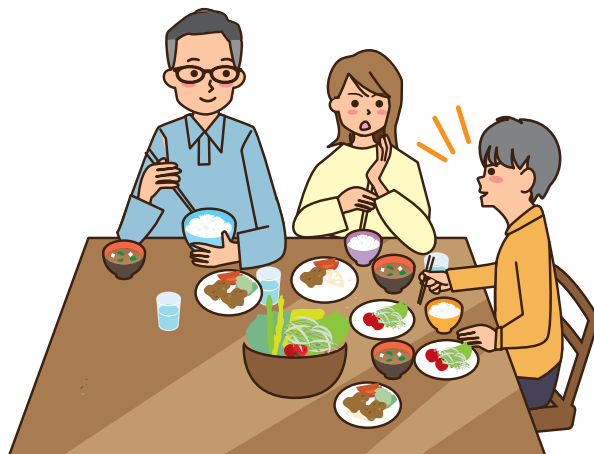
そのために、学校と行政や福祉が協力し合うことで、  
苦しい状況にあるこどもや若者のSOSにいち早く気づいて、

支援につなげられる体制を作っていくよ。

社会全体で取り組む課題として、国や地域、

民間の企業や団体が連携をして、

こどもの貧困の解消に取り組んでいくからね！



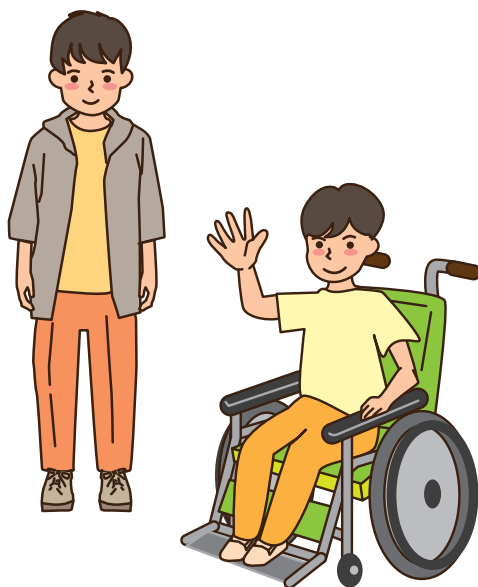
# 子どもや若者にはなにが大事？



障がいのある子どもや  
医療のケアが必要な子どもへの支援

地域の様々な機関の連携を強めて、障がいのある子ども・若者や、  
医療の専門的な支援が必要な子ども・若者などが、  
適切な支援を早い段階から受けられるようにしていくよ。

また、障がいの有無に関係なく、  
安心して暮らせる地域づくりにも力を入れていくよ！



# こどもや若者にはなにが大事？



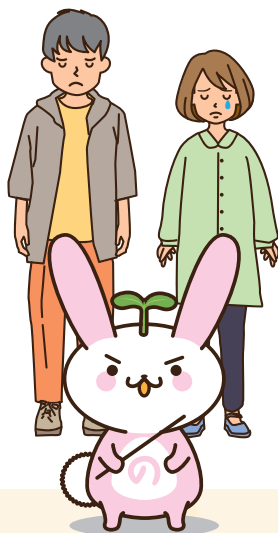
## 児童虐待防止、ヤングケアラーへの支援

どんな理由があっても、こどもが暴力を受けることはあってはいけないんだ。

こどもの虐待を防ぐには、子育てに悩んでいる家庭やこども自身からのSOSをできるだけ早くキャッチして、適切な支援をしていく必要があるよ。

そのために、こども家庭センターや学校・民間支援団体が連携して、地域のネットワークを強化するよ。

本来おとなの仕事である家事や家族の世話をするヤングケアラーも、福祉・教育などの機関で協力してできるだけ早く把握して、こども自身の気持ちに寄り添って、必要なサポートにつなげていくよ。



# 子どもや若者にはなにが大事？



## 子どもの自殺防止と、犯罪などからの保護

子どもや若者が自殺に追い込まれることがないように、  
自殺対策に力を入れるよ！

具体的には、子どもの自殺の要因を分析したり、  
学校のタブレットなどを使った子どもの「心の健康観察」を進めたりと、  
専門家チームが、学校や市区町村の自殺対策をサポートする  
取組などを進めるよ。

また、性被害からもみんなを守るために、  
社会へ呼びかける活動を続けたり、  
被害にあった子が相談しやすくなる取組をしたりするからね。

災害や事故で傷ついてしまった子のケアや、  
非行や犯罪をしてしまった子の自立支援もしていくよ。





## 幼児期までの支援で重要なこと

### 誕生日前から幼児期にかけて 大事なこと

次に、それぞれのライフステージで重要なことを紹介していくよ。  
まずは、

「誕生日前から幼児期まで」

で大切なことから。この時期は、こどもの一生にわたる幸せのベース  
を築く上で、一番大事な時期なんだ！



## 幼児期までの支援で重要なこと



### 妊娠中から幼児期まで 途切れず受けられる保健・医療

子育てに不安がある妊婦さんやお母さんが、必要な支援を受けられるようにするよ。  
病気や障がいなどを早く見つけ、適切な支援につなぐ取組を進めるよ！



### 安心して成長できる場と、 遊びの充実

家庭環境などに関係なく、全てのこどもが健やかに育つように、安心して成長できる場所と充実した遊び・活動の機会を用意するよ。



# 学童期・思春期に 重要な支援



## 学童期・思春期にかけて大切なこと

学童期は、身体も心も大きく成長する時期。  
友達とのつながりや遊びを通じて、社会性を育む時期だよ。  
安心安全の場で小さな失敗を経験しながら成功体験を重ねて、  
自信をつけていける環境が大事なんだ。

思春期は、身体が性的に大人になり始める時期。  
自分のことや人間関係などに悩みやすい繊細な時期でもあるんだ。  
この時期のこどもが自信を持てるように、  
そして、環境によって進路を制限されないように  
支えていくことが大事だよ。





## 学童期・思春期に 重要な支援



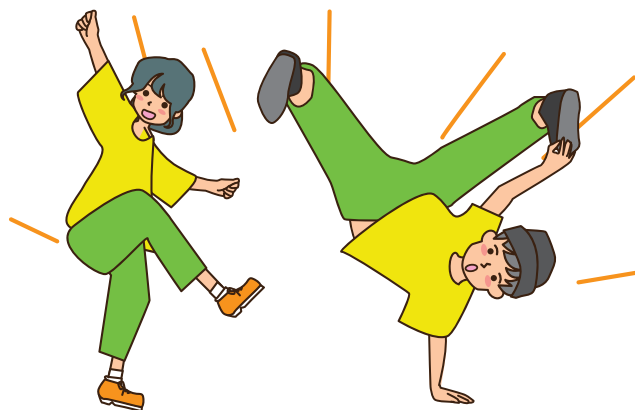
### 安心して通える 学校の再生

学校は勉強をするだけの場所ではなく、  
友達や先生と関わりながら育っていく、  
大切な居場所でもあるんだ。  
そんな学校での生活を、  
さらに充実したものにするね。



### 安心安全の居場所づくり

こども・若者が好きなことをしても、  
何もしなくても、  
大丈夫な居場所を作るね。  
すでにある居場所も、  
より良い場にしていくよ！

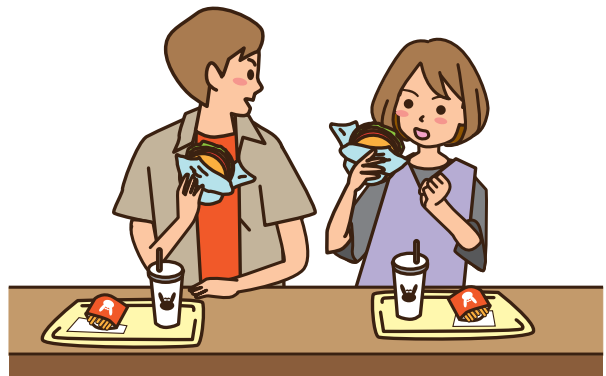


## 学童期・思春期に 重要な支援



### こどもの医療の充実

こどもがいつでも安心して  
医療を頼れるように体制を整えるよ。  
また、性と健康に関する  
正しい知識を得たり、  
自らに合うサポートを受けたり  
できるようにするよ。



### 成人する前に 必要な知識や情報の提供

やがて社会で生きていけるよう、  
国や社会の仕組み、  
お金などを学んだり  
色々な仕事に触れたりと、  
将来を考えるための機会を  
用意するよ！



## 学童期・思春期に 重要な支援



### いじめの防止に向けた対策をするよ

いじめは、こどもの身体と心に深刻な影響を与える、  
許されない行為だよ。

とても大きなこの問題には、社会全体でしっかり取り組んでいくよ。

おとなたちは、いじめにアンテナを張っているから、  
いじめを発見したら、スピーディーに学校や教育委員会で  
対応するね。いじめの相談先も用意するよ。

いじめの被害者が加害者でもあったり、  
加害者が家で虐待を受けていたり、  
家庭に経済的な問題があったりと、  
いじめの問題はとても複雑なんだ。

こうした問題には、スクールカウンセラーなどの支援者が、  
広い視野で解決に導いていくよ。

# 学童期・思春期に 重要な支援



## 不登校のこどもの支援

不登校の要因は様々で、誰だってなる可能性があるんだ。  
そこで、不登校になったこどもが安心して学ぶことができるよう、  
様々な学びの場所を増やしていくよ。  
また、スクールカウンセラーをはじめとした  
専門家に相談できる環境を整えたり、  
フリースクールなどの機関と連携をしたりと、  
不登校のこどもを支援する仕組みをつくるよ。



# 学童期・思春期に 重要な支援



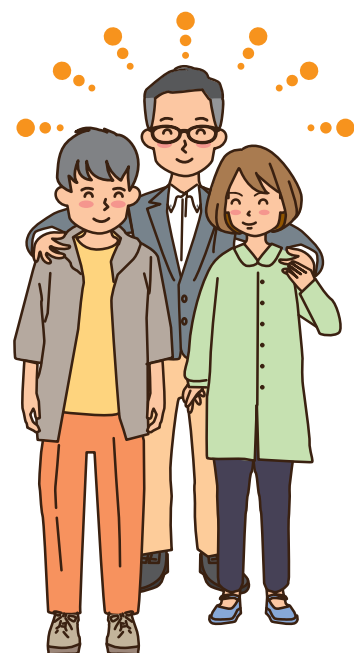
## 校則の見直し

校則を見直すときには、  
子どもや保護者をはじめとした、  
学校に関わる様々な人の意見を  
聞いて進めていけるようにするよ！



## 不適切な指導の防止

体罰や不適切な指導は、  
どんな理由があっても許されないこと  
なんだ。  
これらのことが決して  
起こらなくなるように、  
取組を進めていくよ。





## 青年期に必要な支援

### ライフイベントに向けてサポート

青年期は、大学や専門学校などへの進学や就職をはじめ、人生に大きな影響を与えるイベントが重なる時期。

若者が自分の適性などを理解した上で、進学先や就職先を選べるように支援していくことが大事だよ！



## 青年期に必要な支援



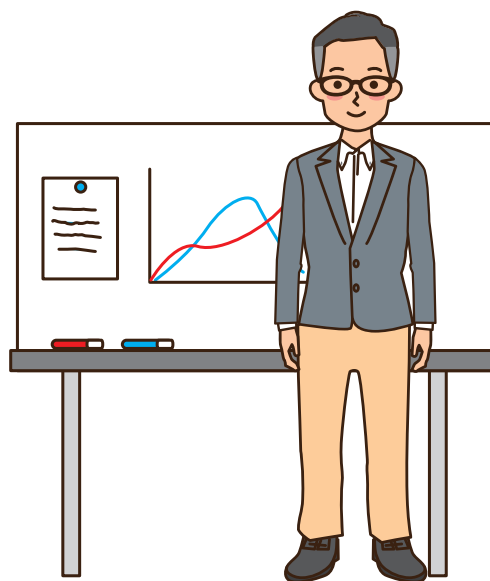
### 進学支援・進学先の充実

家庭の経済状況に関係なく、  
大学や専門学校などに  
進学できるように支援するよ！



### 経済的安定のための支援

全国のどの地域に過ごす  
若者も経済的な不安なく、  
良い環境で仕事をして、  
将来への見通しを立てて  
生活できるように、  
地方を活性化するよ。



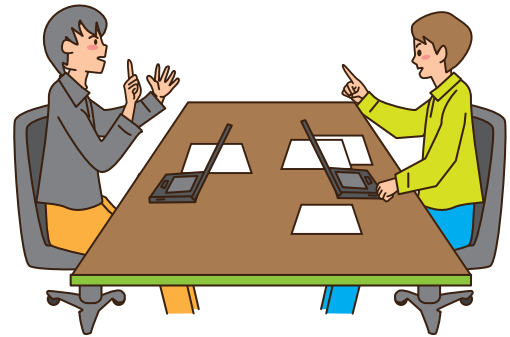


## 青年期に必要な支援



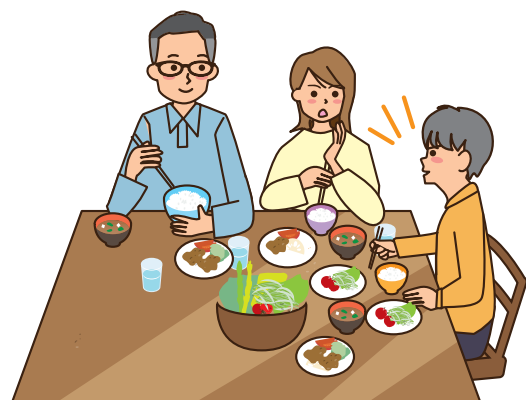
### 結婚に関連した支援

結婚を希望しているけど  
出会いの機会がない人たちを対象に  
出会いの場を用意したり、  
結婚に伴う新生活への移行を  
支援したりするよ。



### 悩みを抱える若者や その家族への支援

仕事をしていない若者、  
家から出られない若者、  
進路や人間関係などで悩みを抱える  
若者やその家族などが頼れる  
相談体制を充実させていくよ。

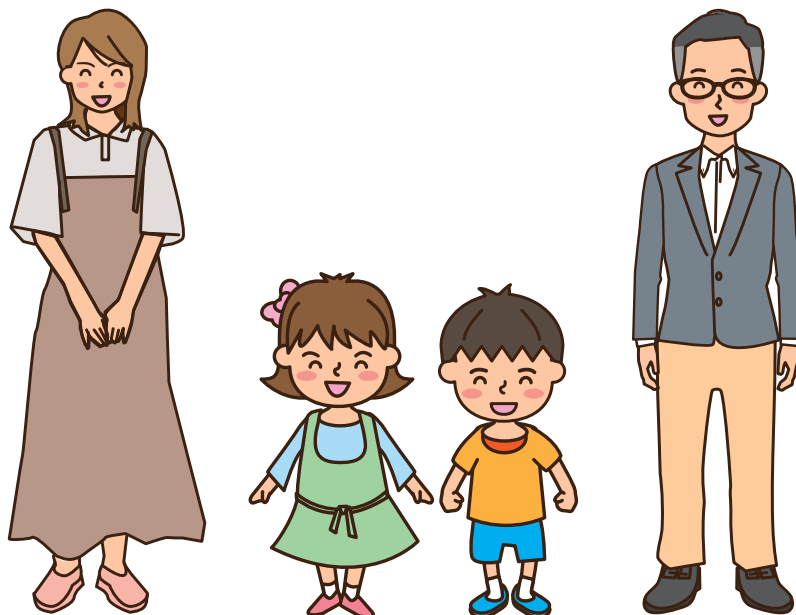


# 子育て当事者に 必要な支援



## 4つの重要なポイント

- ① **子育てや教育の経済的負担を軽減するよ**
- ② **地域のニーズに合った子育て支援をするよ**
- ③ **夫婦で協力して子育てができるようにしていくよ**
- ④ **ひとり親家庭を支援するよ**



# 子育て当事者に 必要な支援

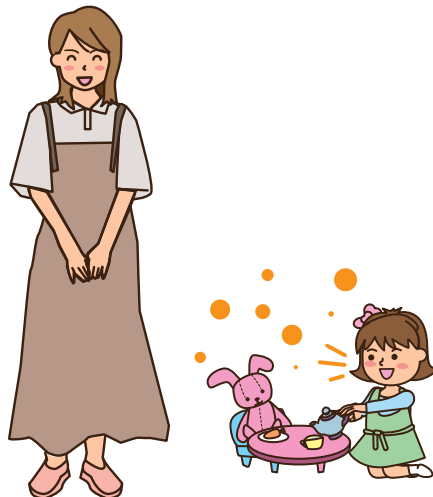


## いろいろな角度から支援するよ

核家族化が進み、地域のつながりも希薄化している現代で、  
子育て中のおとなは、子育てに関して周囲の人に  
助言や協力をしてもらうのが難しいんだ。

でも、こどもの健やかな成長には、  
子育ての当事者が仕事や経済の不安がない状態で、  
安心してこどもに向き合えるようにしていく必要があるよね。

そこで、子育てや教育にかかる費用負担の軽減、  
地域のニーズに応じた子育ての支援、  
男性の家事・子育て参加への呼びかけ、ひとり親家庭への支援など、  
様々な角度から子育ての当事者を支援していくよ！





## 取組を進める上で 大事なものは？

こども・若者の意見を反映し  
社会への参画を進めるために

こども基本法では、こどもの社会参画と意見の反映を両輪に施策を進めていくことが求められているよ。

これらを大事にすることには、2つの意義があるんだ。

1つ目は、こどもや若者の状況やニーズをよりの的確に理解して、より効果的な施策を進めていけること。

2つ目は、「自分の意見がしっかり聴かれ、社会に影響を与えている」という実感が、こどもの自己肯定感や社会の一員としての意識を高めてくれること。

その実現のために、おとなのみんなが対等な目線でこどもの意見を聞き、尊重の姿勢を大事に、こども・若者の社会への参画を後押ししていくよ！



# こどもの 社会参画・意見反映



## 国の政策にこどもの意見を

こども・若者の意見を聴く取組、  
『こども若者★いけんぷらす』を推進し、  
こども・若者の意見が政策に反映されるようにするよ！  
その他、各省庁の取組に、  
こどもや若者が参加できるようにしていくからね！



# こどもの 社会参画・意見反映



## 自治体での取組も推進

こどもや若者にとって特に身近な政策を実行する自治体で、  
こども・若者がより社会に参画し、  
意見が反映されるようにしていくよ！

学校や教育委員会などが行っている取組についても周知していくよ。





## こどもの 社会参画・意見反映

こども・若者が社会に参画し、  
意見を表明する機会をしっかりと確保

あらゆるこども、若者が家庭や学校、地域などで意見を持ち、  
尊重される機会を持てるように、環境を整えていくよ。

同時に、そうしたこどもの権利の知識を、  
周りのおとなをはじめ、社会全体に広めていくね。





# こどもの 社会参画・意見反映



## 多様な声を施策に反映させる配慮・工夫

貧困や虐待、いじめ、体罰などの困難な状況にあるこどもや、ヤングケアラー、社会的養護の下で暮らす子など声が聴かれにくい状況にあるこども・若者の意見もしっかり聴き、反映できるように工夫をするよ。

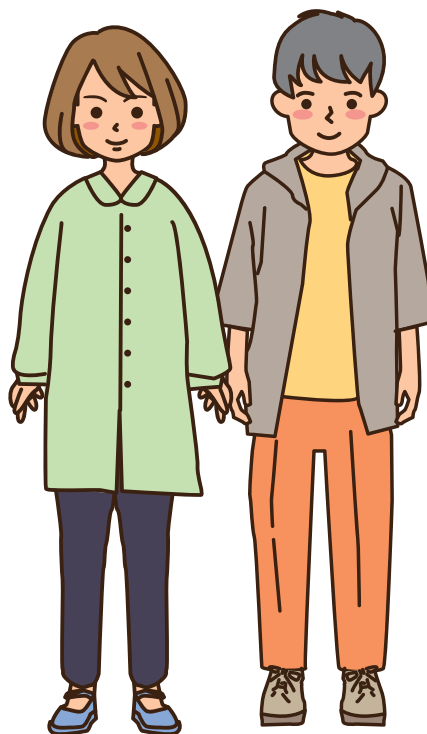




## こどもの 社会参画・意見反映

### こどもの社会参画や意見表明を 促す人材の育成

こどもや若者が安心して意見を言える安全な場を作り、  
意見を引き出してくれるファシリテーターなどの  
人材が必要不可欠なんだ。  
だから、そうした人材を育て、  
確保するための取組を進めていくよ。



# こどもの 社会参画・意見反映



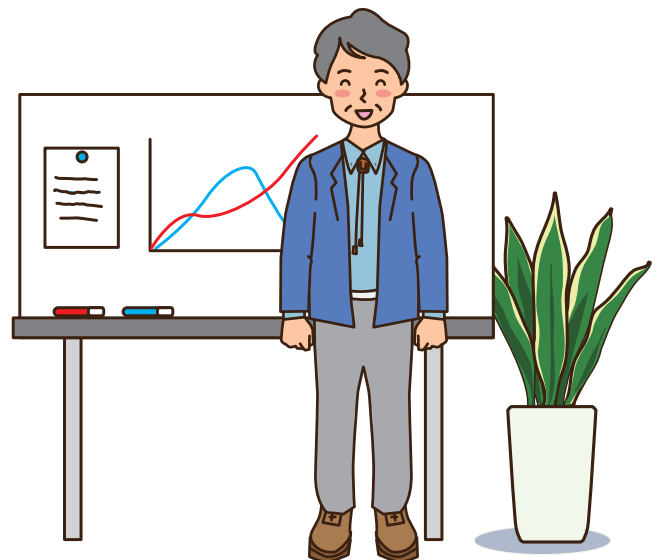
## 若者主体の 団体活動に追い風を

こども・若者が社会に参画する  
機会の一つ、  
こども会議などの活動が充実するように  
取組を進めるよ。  
児童館や図書館など、  
地域の施設も巻き込んでいくね。



## 調査や研究にも 注力

こどもや若者の社会参画や  
意見の反映に関する調査・  
研究を進めて、  
プロセスや結果を評価する仕組みを  
構築していくよ。



# こども施策・共通基盤の 取組



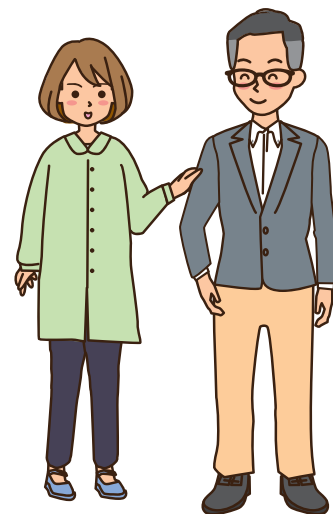
## 根拠を大事に、 様々なデータや統計を活用

こどもに良い効果が期待できる  
客観的な根拠を大事に、  
数字のデータも数字に映らない  
データも活用して、  
行政と外部の専門家などが協力して  
施策を進めるよ。



## こどもや若者、子育て当事者に 関わる人材の確保

こども・若者や子育ての  
支援をしている人たちや、  
地域のボランティアの人たちを育てて、  
より専門的なサポートができるように  
するよ。

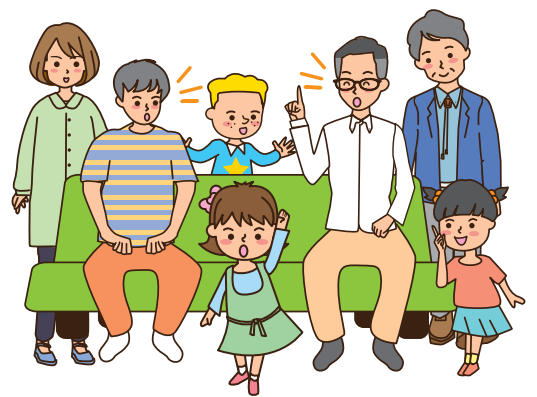


# こども施策・共通基盤の 取組



## こども支援に関わる各団体や、 専門家との連携を強化

あらゆるこども・若者に、  
年齢により途切れることなく、  
支援が届くようにするよ！  
そのために教育、福祉など各分野の  
団体・専門家とますます協力体制を築くよ。



## 子育て関連の手続き 簡略化・情報提供

子育て支援の一環で、  
デジタル技術による手続きの  
簡略化を進めたり、  
必要な支援が届くようにSNSなどを  
活用して情報を発信したりするよ。



# こども施策・共通基盤の 取組



こども・若者に優しい社会に向けた、  
意識の改革

こどもや若者、子育て中の方々には気兼ねなく、  
さまざまな支援を活用してほしい。

だから、地域・企業などで、全員がこどもや若者・子育て中の方々の  
味方となることを目指し、社会全体の意識改革、  
「こどもまんなかアクション」を推進していくよ！



# こども施策の 推進体制



## 6つの推進体制

### 内容

- ① 内閣総理大臣を筆頭に、政府が協力して取り組むよ
- ② 目標と指標を決めて、施策を進めていくよ
- ③ 国と自治体が視点を補い合って施策を推進するよ
- ④ ユニセフなどの世界的機関とも連携をしていくよ
- ⑤ こども大綱の推進に必要な資金を確保するよ
- ⑥ こども施策が適切に実施されているか、見直すよ





## こども施策の 推進体制



### 国と自治体が 協力して推進

内閣総理大臣がリーダーとなって、  
国とそれぞれの地域の自治体が協力し、  
お互いに足りない視点を補い合って  
こども施策を進めていくよ。



### 海外の団体とも連携

こどもに関わる国際会議の内容を  
踏まえた施策を進めるよ。  
また、ユニセフなど、  
こどもの権利を守る  
国際的な団体とも協力していくからね！

